

静岡市環境大学2018 講座報告 6日目

演題：放射線の基礎 ～放射線を正しく知って、正しく怖れるために～

静岡大学名誉教授/静岡エネルギー・環境懇談会会長 奥野 健二 様

場所：しずもーる沼上3階研修室

日時：平成30年8月18日（土）9時15分から11時45分まで

放射線は、太古の昔から自然界に存在

宇宙から

宇宙から、常に放射線（宇宙線）が地球に降り注いでいる。



地上からの高度が高いほど受ける放射線は多くなる。

空気から

空気から、常に放射線が出ている。



放射線の量は、場所によって違う。

大地から

大地から、常に放射線が出ている。



放射線の量は、場所によって違う。

食べ物から

食べ物からも放射線が出ている。



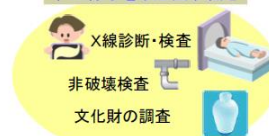
食べ物を食べている私たちの身体からも放射線は出ている。

私たちは太古の昔から、日常生活でも放射線を受け続けてきた。

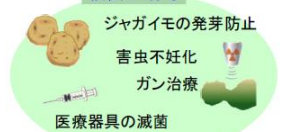
3
Shizuoka University

放射線の様々な利用

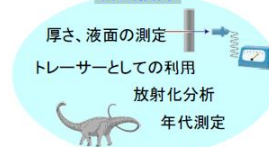
中の様子を映し出す働き



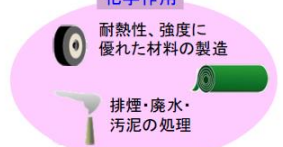
殺菌や消毒



計測技術



化学作用



18
Shizuoka University

講義のポイント

要点1：放射線は、太古の昔から自然界に存在

- 宇宙や大地、空気などの自然、そして食べ物などからも出ている。

要点2：放射線には様々な活用方法がある

- ①物の中身を知る(エックス線検査、文化財の調査)、②殺菌や消毒(がん治療・医療器具の滅菌)、③計測技術(厚さの測定、年代測定)、④化学作用(耐熱性・強度に優れた材料の製造、廃水処理)

要点3：放射線事故の時に身を守るには

- 外部被爆から身を守るには、できるだけ早く・遠くに離れ、建物の中に入る
- 内部被ばくから身を守るには、ハンカチなどで口をふさぎ、顔や手を洗い流す

要点4：放射線について正しく理解する

- 放射線を受けたことで、人から放射線が出るようになることはない
- 風邪のように人から人へうつることはない

受講生の感想など

- ★ 放射線に関する色々な言葉については聞くことは多くありましたが、今日、その意味が勉強でき有益でした。
- ★ 放射線について、正しい知識を得られることができました。